（別紙）

評価細目の第三者評価結果
（障害者・児福祉サービス版）

A-1　利用者の尊重と権利擁護
A-1-（1）　自己決定の尊重

	第三者評価結果
A①　A-1-（1）-①　利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・契約児の自己意思決定を促すため、言語聴覚療法においては絵カードを用いて、自己の意思を確認し、自己決定を尊重できる取り組みを行っている。また、契約児の保護者との面接によって、保護者が本園以外の福祉サービスの利用を希望する場合は、個別支援計画の地域支援欄にその旨を記載して、関係機関と連携しながら、様々な福祉サービスの基本情報を提供し、利用希望が実現するよう支援している。	
改善できる点／改善方法：	

A-1-（2）　権利擁護

	第三者評価結果
A②　A-1-（2）-①　利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・障害者虐待については厚生労働省が策定した「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き」をテキストに研修を行っている。 ・また、児童虐待については、保護者による契約児への虐待が発見しやすい職場環境であることから、障害者虐待とともに研修を行うとともに、職員会議において、事案が疑われるときは検討を行い、関係機関に通報している。 ・さらに、保護者に対して子育てについてアドバイスしたり、レスパイトのためのショートステイを勧めたりして児童虐待を事前に防止し、保護者が安心して子育て出来る環境づくりに努めている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2　生活支援
A-2-（1）　支援の基本

	第三者評価結果
A③　A-2-（1）-①　利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・契約児が少しでも自力で生活できるよう、保育においては保育所や特別支援学校に入所するための集団生活へ順応するための指導やトイレの排せつ指導、ＯＴの服の着脱指導など様々な指導を通じて支援している。 ・また、契約児の特別支援学校の進路先決定支援や保育所、幼稚園への入所支援により契約児の自立に向けた支援を行っている。	
改善できる点／改善方法：	
A④　A-2-（1）-②　利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・契約児の９９％が知的障害をもっており、コミュニケーションを取りづらい子どもがほとんどである。そのため、契約児の障害や発達に応じて紙カードや○×などのシンボルなどのツールを利用し	

て、自己決定の機会を増大されるとともに、契約児とのコミュニケーションをとるよう努力している。

改善できる点／改善方法：

A⑤　A-2-（1）-③　利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
・家庭訪問や来園する家族との面談、職員による家族に対する日常の声掛けによって、家族の思いや考え方を受けとめるとともに、子育てに関する相談や情報提供、子育て支援を行っている。
・日頃から職員には、家族から気軽に声をかけてもらえるような人間関係をつくっておくよう指導している。

改善できる点／改善方法：

A⑥　A-2-（1）-④　個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
・アセスメントに基づき契約児の保護者の様々な要望を可能な限り個別支援計画に盛り込んで、提供する福祉サービスの多様化を図っている。
・余暇やレクレーションについては、遠足や夏まつり、運動会、クリスマス会、節分の豆まき、月々の誕生日会などの行事を組み合わせて実施している。(令和2・３年度はコロナ禍のため、縮小して実施)
・行事については、保護者からの要望を踏まえて定期的に見直しを行っている。今年度は、岐阜県警生活安全企画課のたんぽぽ班による連れ去り防止啓発のイベントによる人形劇や警察官の制服の着用体験などを新たに開催した。。

改善できる点／改善方法：

A⑦　A-2-（1）-⑤　利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
・様々な障害や疾病を抱える子ども達に、適切に対応できるよう、職員に対して様々な研修に参加させ、専門性の向上に努めている。また、医療ケア児が増えていることから、看護師に重症心身障害児看護人材育成研修に参加させているほか、岐阜県看護協会から小児看護の専門看護師を本園に招いて、講義を受講させた。
・発達障害を抱える子どもが、契約児の多くを占めることから、発達障害支援に関する専門職員を抱える岐阜市子ども・若　者総合支援センター エールぎふとも連携して支援している。

改善できる点／改善方法：

A-2-（2）　日常的な生活支援

	第三者評価結果
A⑧　A-2-（2）-①　個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：
・給食は、本園で調理して提供している。契約児は、障害や疾病により咀嚼する力が弱いうえに、保護者の食事の与え方も不適切な場合もあることから、必要に応じて給食時に子ども１人ひとりに職員を配置して、摂食指導を行っている。
・また、摂食指導を専門とする言語聴覚士が毎日、指導する契約児を決めて指導しているほか、医師や看護師も指導を行っている。
・給食は、普通食・きざみ食・ミキサー食の3種類を用意し、摂食機能に合わせて選択できるようにしている。さらに、保護者の要望により、給食メニューのレシピの提供や調理方法の指導もおこなっている。
・排泄指導は、個別支援計画にも位置づけ、保育の中で積極的に行っている。トイレで排せつできた

こどもには、スタンプラリーの用紙に１個ずつシールを張って子どもを励ますなど工夫を行っている。
改善できる点／改善方法：

A-2-（3）　生活環境

	第三者評価結果
A⑨　A-2-（3）-①　利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・園内を清潔に保つために、毎日始業後に全職員によって清掃を行っている。 ・また、体温の調節が十分にできない契約児がいることから、各部屋に温度計兼湿度計をおいて管理を行っている。 ・給食が終わった後、契約児を職員が預かり、その間、保護者同士が自由に話しあってもらい、リフレッシュできるよう保護者のためのティータイムを設けている。 ・環境面についても、利用者アンケートを行い、意向の把握に努めている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-（4）　機能訓練・生活訓練

	第三者評価結果
A⑩　A-2-（4）-①　利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・機能訓練は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がそれぞれの立場で個別支援計画の中に盛り込んで、計画的に実施している。 ・訓練に先立って小児科医が診察を行い、医師の指示・指導によって、それぞれに評価・治療を行っている。 ・理学療法士3名、作業療法士1名、言語聴覚士1名を配置しリハ実施計画書に従って訓練している。また、リハ計画書の更新の際には再評価を行っている。 ・また、補装具の専門業者二社が毎週月曜日に来園し、相談に応じているほか、整形外科医が２週間に１回診察を行っている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-（5）　健康管理・医療的な支援

	第三者評価結果
A⑪　A-2-（5）-①　利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・毎日の保育及び訓練に先立って、本園の小児科医が診察を行い、バイタルチェックを始め診察によって、契約児の体調管理を行っている。 ・体調がすぐれない場合やインフルエンザなどの感染症の場合は保育や訓練を認めない場合もある。また、小児科医は、契約児の主治医と密接に連携して最新の病状を把握している。 ・また、大学病院とは病診連携協定を結んで、大学病院に通院する契約児の保護者の同意のもとに、大学病院における契約児のカルテや検査結果を本園のパソコン端末によって把握できる環境をつくっている。 ・医師・看護師が中心となって、利用児の健康状態の把握を行っている。年2回健康診断を行い、成長の度合いも把握している。	
改善できる点／改善方法：	
A⑫　A-2-（5）-②　医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点： ・本園に併設するポッポの家診療所の管理者である小児科医は、契約児の病状を毎日把握し、必要に応じて保護者への医療面での情報提供や服薬指導を行っている。 ・客痰吸引や経管栄養などの医学的ケアは、医師や医師の指示を受けた看護師が実施している。なお、医療的ケアについては、医療ケア実施内規を作成し、契約児の保護者の同意書を徴したうえで、保護者の同意のもとで実施している。 ・医療ケアについては、医師・看護師による吸引の研修を行い、リハ職員も対応できるようにしている。食物アレルギーについては看護師が中心となり、管理している。
改善できる点／改善方法：

A-2-（6）　社会参加、学習支援

	第三者評価結果
A⑬　A-2-（6）-①　利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・本園の障害児と保育所の児童との交流が、健常児の障害児への理解を広げる効果が期待されることから、希望する保護者の意向を受けて、交流保育の支援を行っている。ただ、本園の障害児と健常児との知的な面や体力的面でのギャップが大きく、保護者が精神的に傷つく場合も多く、その場合には、保護者のフォローが必要である。本園は、親子通園が原則であることから、子育てで孤立しがちな保護者を支援する目的のため、通園する保護者同士が友人となって、何でも話し合える人間環境をつくれるように支援している。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-（7）　地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
A⑭　A-2-（7）-①　利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・本園の６月１日現在の契約児童５４人のうち、地域の児童発達支援事業所、保育所、幼稚園を並行利用している児童は、重複を含めて４９か所に達している。そのほか短期入所や訪問診療、訪問看護を利用しているケースも目立ってきている。 提供するとともに、関係機関と連携して利用を促進している。また、サービスに関するトラブルや不満に対する相談にも対応し、事業者に対する問わせや事業者間の調整も行っている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-（8）　家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
A⑮　A-2-（8）-①　利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・個別支援計画に家族支援を項目を設け、計画的に家族への支援を行っている。サービス等利用計画や個別支援計画作成にあっての家庭訪問やモニタリングの際の個別面接、園内での日常的な職員による声掛けなどあらゆる機会をとらえて契約児の保護者と意見を交わし、アドバイス等によって支援を行っている。 ・契約児を生んで間もないために、子どもの障害を受けれいられていない保護者や家庭内で夫などの家族から子育ての協力得られず、孤立している母など、支援を必要としているケースが増えてきおり、職員の家族支援のスキルアップに努めていきたい。	
改善できる点／改善方法：	

A-3　発達支援
A-3-（1）　発達支援

	第三者評価結果
A⑯　A-3-（1）-①　子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・契約児の療育については、契約児の障害の程度や発達の状況に合わせ、保育における集団活動と訓練における個別活動を組み合わせながら実施している。 ・一人ひとりの活動プログラムは、個別支援計画に基づき児童発達支援管理責任者が中心となって、担当する訓練や保育の担当者間の調整を行いながら、チームを組んで支援を行っている。 ・面接などを通じて、契約児の保護者の要望を聞きながら、特別支援学校や保育所、幼稚園、児童発達支援事業所の情報提供や通園にあたって起きるであろう障害の除去などにより、利用の支援を行っている。	
改善できる点／改善方法：	

A-4　就労支援
A-4-（1）　就労支援

	第三者評価結果
A⑰　A-4-（1）-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点：　非該当	
改善できる点／改善方法：	
A⑱　A-4-（1）-②　利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点：　非該当	
改善できる点／改善方法：	
A⑲　A-4-（1）-③　職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点：　非該当	
改善できる点／改善方法：	

A-5　県独自項目
A-5-（1）　職員の援助技術の向上

	第三者評価結果
A⑳　A-5-（1）-①　職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。	ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師、看護師といった専門職が職員の多くを占めるため専門性の観点から他の職種の職員がスキルを評価するのは困難であるため、職種ごとに組織されているＰＴ協会などの職種ごとに組織される団体の研修会に参加させ、年間３回から４回開催される実技講習によって他の職員から評価を受けさせることによってスキルアップに努めている。 となり、全職員を対象に３か月に１回程度研修を行っている。	

改善できる点／改善方法：

A-5-（2）　ＩＴ技術や知識の修得

	第三者評価結果
A㉑　A-5-（2）-①　利用者の社会生活に必要となるＩＴ技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。	a・b・c
良い点／工夫されている点：　非該当	
改善できる点／改善方法：	